

令和7年度第2回進路指導担当者等連絡会議



茨城地本（本部長・栗秋1等空佐）は、1月27日（火）、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地において、令和7年度第2回進路指導担当者等連絡会議を実施した。

進路指導担当者等連絡会議は、茨城県内の高等学校及び専門学校の進路指導者を招き、自衛隊の概要及び自衛官の募集や援護について説明し、募集基盤の拡充を図ることを目的に毎年実施している。

今年度は、陸上自衛隊関東補給処、航空学校霞ヶ浦校及び航空自衛隊中部高射群第3高射隊の支援を受け、通信制の高等学校も含めた30校35名の教諭にご参加いただき、自衛官の処遇、生活・勤務環境の改善を含めた茨城地本の最近の取り組みについて説明するとともに、体験喫食及び駐屯地見学を実施した。

参加教諭からは「貴重な見学ができたので、生徒や教諭に伝えたい。」「初めて駐屯地に入り、全てが新鮮で得るものが多くあり、生徒の進路指導に役立てたいと思う。」などの自衛隊に対する前向きな感想を聞くことができた。

茨城地本は、通信制高校を含めた新たなソースの開拓を進めるとともに、募集と援護の相乗効果の発揮に努めていく。

